

## 編集委員長からのごあいさつ

当研究科紀要は、第34号から大幅な改良を重ねてきましたが、特に本号では、長年の懸案でありました『教員の学術論文リスト』を掲載するに至りました。これは、色々と大変でしたが、皆様のご協力で、ついに実現することができました。今回は、初回ですし、前年度分のみを個人別ではなく、各講座単位にまとめて掲載しました。この業績リストを見れば、当研究科のアクティビティの一端がわかりますし、特に留学生や外部からの研究生などが、応募する際の研究室選びの参考にもなるかと思えます。大いにご活用下さい。

第二の新しい項目として、卒論題目と卒論生の名前を掲載したことです。従来から、大学院の修士と博士の論文については掲載しておりましたが、卒論は今回が初めてです。

さらに、本号に掲載されている論文などの総数は10報となり、数の上でも、内容的にも、かなり充実してきました。

当研究科の研究紹介の広告塔などとして、紀要が今後ますます発展し、社会に役立つことを願っております。

ご協力いただいた皆様に、心より厚くお礼を申し上げます。

2010年2月

田 口 寛